

城北中学校区新統合小学校開校準備委員会・検討委員会 顔末書

会議名	第1回 小中連携教育カリキュラム作成分科会
日時	令和4年 6月23日(木) 午前10時～11時
会場	飯水教育会館
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「飯山市小中連携教育」の推進について ・本年度分科会で取り組むことについて ・今後の推進日程について
決定・確認事項	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校の連携・接続を意識しながら、「Plan」の①～⑤の視点をもとに各種委員会の「原々案」を作成し、次回提出する。 ・外国語教育については、「ヒト」の視点を重視する。 ・次回「市全体の小中連携教育カリキュラムの「グランドデザイン」を提案
主な質問・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校までに育てたい姿(資質・能力)を城北中学校のカリキュラムに反映させていくことで、小中の連携・接続を強化する ・3つの委員会を新小学校の「特色」としながら、小・中学校が「大切にしたい子どもの姿」を共有し、学校教育目標、指導の重点等を作成する ・「ヒト・モノ・コト」の視点から、「9年間連続した学び」の育ちを旨ざしていく ・本年度は、PDCAサイクルの「Plan」の段階として、以下の点に留意しながらカリキュラムを開発する <ol style="list-style-type: none"> ① どのような子どもを育てるのかを明確にしておくこと ② 子どもがやってみたくなる内容であること ③ 指導内容、活動の進め方が分かりやすい ④ 地域の特性を十分に生かした内容であること ⑤ 新統合小学校にしかない独自性を大切にされた内容であること ・全体像(市全体のGD)を明確にしていくことで、以下の各委員会のカリキュラムの方向を定める <ol style="list-style-type: none"> ① ICT教育・・・(小1～6) 大まかな学年区分で表記, (中) 学年ごとの表記をしない。 ② 外国語(英語)教育・・・小5～中1の3年間にしぼり作成 全体的に「Can-Do List」形式に対しての委員の意識が高まらない。 ③ ふるさと学習・・・昨年度の方向をもとに、さらに魅力的なものにしていく。